

科学者が知っておきたいビジュアルデザインの心得 8

パワポ使いこなし術 〈ポスターのレイアウト〉

田中佐代子

はじめに

今回はレイアウトグリッドを使った「スライドのレイアウト」について解説しました。今回は、レイアウトグリッドを使った学会発表用の「ポスターのレイアウト」について解説します。

* タイトルを「Before -After による事例 その2」から、「ポスターのレイアウト」に変更しました。

ポスターのレイアウトグリッド

発表ポスターはA0やB0サイズなども多く、とにかく大きいです。文字数や図・写真などを必要最低限に絞ることが必要ですが、そうしたとしてもかなりの情報量になります。これらの情報を読み取りやすくするためには、レイアウトグリッドの使用は必須です。以下にレイアウトグリッド作成のためのポイントとなる余白について解説します(図1)。

A タイトルと本文の間の余白：タイトルと本文の区別をつけるための余白はとても重要です。この余白が狭すぎると、まずは見てほしい演題が読み取りにくくなります。

B 図・写真・文字の間の余白：読み取り順がはっきりわかるようなレイアウトグリッドにすることが基本です。本文は2段以上のレイアウトグリッドにして、行長(1行の長さ)が長くなりすぎないようにしましょう。

C 周囲の余白：きゅうくつな印象にならないようにするために、周囲の余白も必ずつくります。

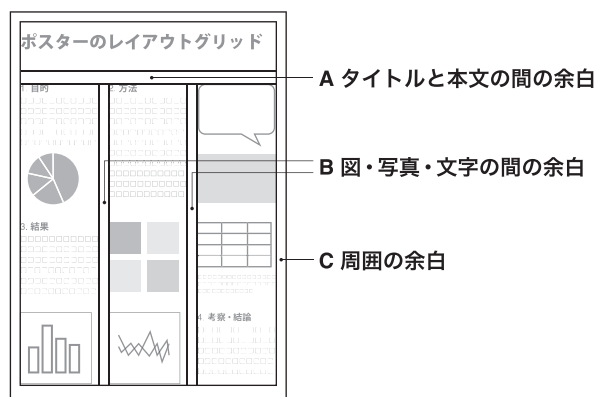


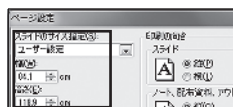
図1. ポスターのレイアウトグリッド例

レイアウトグリッドを作成する

パワポで簡単なレイアウトグリッドを作成してみます。

①ここでは90×142cmのポスターサイズを設定します*。Windowsの場合は「デザイン」メニューの「ページ設定(スライドのサイズ→ユーザー指定のスライドのサイズ)」画面で、Macintoshの場合は「ファイル」メニューでサイズを入力します(図2)。

②パワポの「表示」メニューでWindowsの場合は「ガイド」をチェックします。Macintoshの場合は「ガイド」の「固定ガイド」を選択します(図3)。すると画面の中央にデフォルトの「ガイド」(垂直・水平)が表示されます(図4)。それを移動したり、Ctrl(Windows) / option(Macintosh)キーを押しながら移動することでコピーしたりして、レイアウトグリッドを作成します(図5)。



PowerPoint for Windows 2010

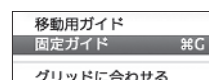


PowerPoint for Macintosh 2011

図2. ポスターサイズの設定画面



PowerPoint for Windows 2010



PowerPoint for Macintosh 2011

図3. ガイド選択画面

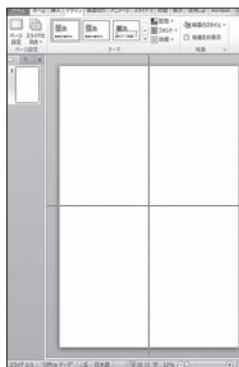


図4. デフォルトの「ガイド」

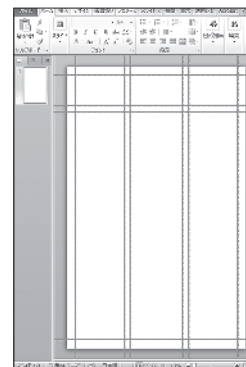
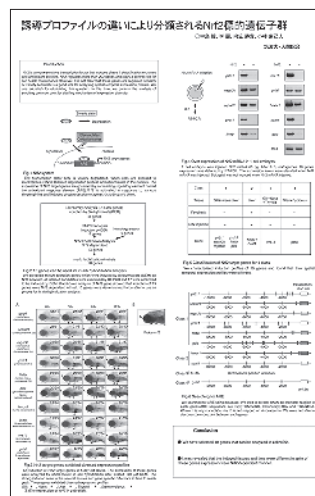


図5. レイアウトグリッドを作成する

*パワポで設定できるサイズは幅・高さとも最大142.2cmまでなので、それ以上のサイズで印刷したい場合は、プリント時に拡大します。

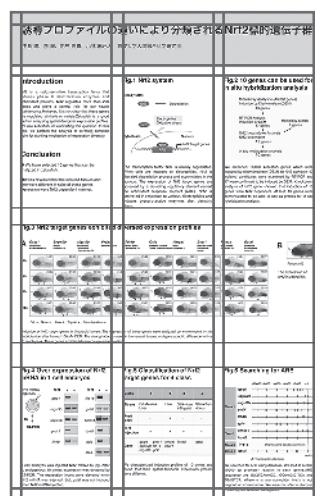
ポスターのレイアウト例（縦長）

レイアウトグリッドをもとに、図や文字を配置してみましよう。



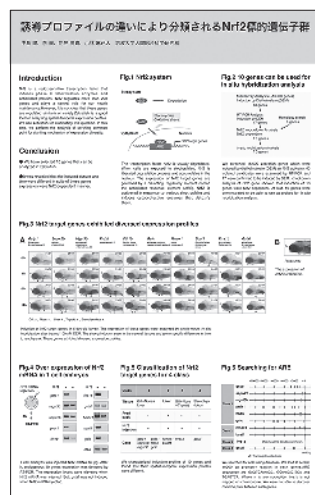
Before (図6)

90×142cmの学会発表ポスターです。Beforeでは英文フォントにHelveticaを使用するなど、シンプルなデザインを心がけていてよいと思います。しかし見出しが本文サイズとあまり変わらないなど、全体に情報のコントラストが少なく、またどのような順番で見ればよいのかもわかりづらいです。



レイアウト作業 (図7)

①作成したレイアウトグリッドにそって図や文字をレイアウトし直しました。さらに水平方向にも揃えられるところは揃えられるよう、グリッドを追加しています。
②すべてのFigureタイトルを図の上に移動してサイズも大きくし(50pt)、見出しのように使うことで、見る順番をわかりやすくしました。
③タイトルまわりに淡いブルーの色面を配置して、コントラストをつけました。



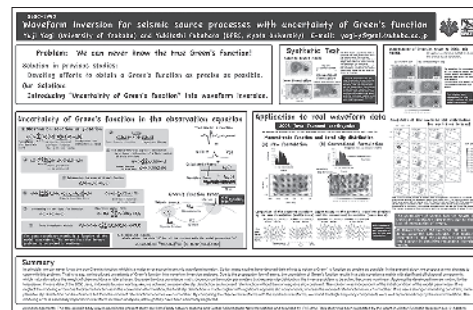
After (図8)

整然としていてメリハリのあるポスターになりました。

[資料提供 (図6～8)：小林麻己人 (筑波大学)]

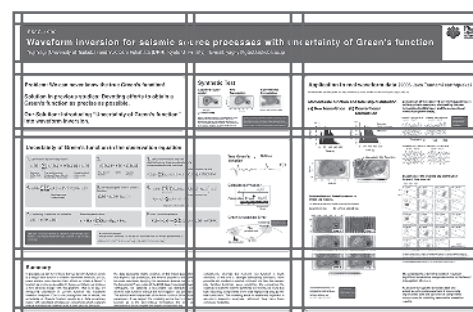
ポスターのレイアウト例（横長）

横長ポスターの図や文字を、レイアウトグリッドにそって配置してみましょう。



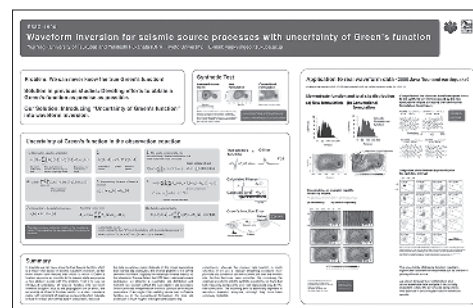
Before (図9)

170×110cmの学会発表ポスターです。項目ごとにグリッドで区切られていますが、読み取り順が少しわかりにくいです。



レイアウト作業 (図10)

①Beforeよりシンプルなレイアウトグリッドに修正しました。
②「Summary」(左下)の行長が長すぎるので、3段組にしました。
③書体はHelveticaに変更しました。



After (図11)

読み取り順がわかりやすくなりました。

[資料提供 (図9～11)：八木勇治 (筑波大学)、深畑幸俊 (京都大学)]

おわりに

今回は効果的な「申請書のデザイン」について解説する予定です。申請書の要点が読みとりやすい文字組やレイアウトを紹介します。